

Press Release

プレスリリース

2019年4月9日

国立大学法人 神戸大学 経営学研究科
工学研究科
学術・産業イノベーション創造本部

シリコンバレー型起業演習を開始

**アクセラレーター、ベンチャーキャピタルファンド、インキュベーター、
シリコンバレー在住起業家との共同授業を文理横断型講師陣が運営**

神戸大学は、2019年度第1クォーター（4月、5月）に、全学部の3-4年生、大学院生を対象とした「シリコンバレー型起業演習」の授業を開講します。本授業は、実務の第一線で活躍するアクセラレーター、ベンチャーキャピタルファンド、インキュベーター、シリコンバレー在住起業家らをゲスト講師に招き、起業の実践スキルを提供いただき、受講生らが講義を通じて作り上げるビジネスプランのうち優秀なものには、それら外部講師陣が所属する組織が一般向けに実施する本格的なピッチコンテストやビジネスプランコンテストへの応募権が与えられ、最終的には起業を目指す学生の輩出を狙います。

ポイント

- ✓ 起業のプロのゲスト講師陣がビジネスプランの作成、プレゼンテーション、ビジネスプラン発表までの一連の実践的スキルを提供
- ✓ 起業に必要な知識を本学の文理横断の講師陣4名がアクティブラーニング形式でレクチャー
- ✓ 受講生は、ビジネスプラン最終発表会で外部招聘講師陣も交えた評価を受け、優秀なプランは Plug and Play Japan 株式会社、SFC フォーラムファンド、Venture Café Tokyo が今後実施予定のピッチコンテストやビジネスプランコンテストへの出場権を獲得

本科目開講の背景

神戸大学経営学部は日本で最初に設立された経営学部であり、「学理と実際の調和」という建学の理念の下、産学連携をとりわけ強く意識しつつ産業界をリードする人材の養成を手がけてきました。上場企業経営者、起業家も数多く輩出してきましたが、昨今、世界的にスタートアップ経済圏の影響力が強くなる中で、次のIoT, AI時代に活躍する文理融合型の起業マインドを有する人材の育成を行うべく、新たな授業の開講を議論してきました。

経団連が会員企業に対して行なったアンケート調査（「高等教育に関するアンケート」2018年4月17日）でも、経済界は大学への教育改革として「イノベーションを起こすことができるリーダー人材育成への取り組み」を最も求めており、「企業と連携した実践的な教育プログラムの推進」も3番目に高くなっています。大学生には「主体性」「実行力」「課題設定・解決能力」を求め、特に理工系学生には「創造力」を期待していることも明らかとなっています。これら経済界からの要望にも積極的に応じる為にも、最先端の現場でスタートアップに取り組んでいる実務家の方々との共同授業の実施にこぎつけました。

講義概要

- 起業のフレームワーク
- デザイン思考演習
- システム思考演習
- エレベーターピッチ演習
- アクセラレーターの取り組み
- ベンチャーキャピタルファンドの取り組み
- 収益分析
- ビジネスプラン発表+講評

外部招聘講師陣

- 矢澤麻里子氏（Plug and Play Japan 株式会社 COO）
- 内木遼氏（Plug and Play Japan 株式会社 CSO）
- 廣川克也氏（SFC フォーラムファンド ファンドマネージャー）
- 八重樫馨氏（i-BuC, Ltd. CEO、シリコンバレー在住起業家・メンター）
- 山川 恭弘氏（Babson College, Associate Professor of Entrepreneurship および Venture Café Tokyo 代表理事）

本学担当講師陣

経営学研究科

内田浩史（教授、博士（経済学）：2017-8年 Stanford 大学客員研究員）

保田隆明（准教授、博士（商学）：起業、VC 勤務経験有）

工学研究科

祇園景子（特命助教、博士（工学）：文理融合プロジェクトデザイン）

学術・産業イノベーション創造本部

鶴田宏樹（准教授、博士（農学）：産官学連携・先端研究推進）

問い合わせ先

■神戸大学経営学研究科

教授 内田浩史 uchida_office@port.kobe-u.ac.jp

准教授 保田隆明 hoda@port.kobe-u.ac.jp、078-803-6991